報告

東日本大震災から10年。ふれあい交流会はこれからも続けます。

赤十字奉仕団が各地で交流しています

健康体操の様子（花巻市花巻地区奉仕団）

プレゼントの準備の様子（一関市一関赤十字奉仕団）

震災から 10 年。未曽有の災害は、沿岸地域の方々の生活を一変させてしまいました。
日赤岩手県支部では平成 30 年度まで復興支援事業の一環として、仮設住宅にお住いの方々を対象に「ノルディックウォーキングとこころのケア」と銘打って、病気やケガの予防を含めたこころとからだの健康づくり支援。さらに季節のイベント等を行い、皆さんが抱えるストレスや健康不安などの軽減に努めました。その後も「ふれあい交流会」として赤十字奉仕団と沿岸地域の方々と交流を継続しています 。

今年度は新型コロナウイルスの影響で 2 回のみの開催となりました 。

11 月 11 日は、花巻市花巻地区赤十字奉仕団が、大槌町の皆さんと体操やゲーム等で交流を深めました。

11 月 17 日には、一関市一関赤十字奉仕団が陸前高田市の災害公営住宅を訪問し、奉仕団員が手分けして 1 軒ずつプレゼントをお渡しし、健康状態や最近の様子などを伺いました。

来年度は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、できる限りの交流に取り組んでまいります。

講習

救急法等の講習について

感染予防に努め、開催しています！

令和 2 年度の救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法の赤十字講習は、コロナウイルス感染症による一部制約がある中で工夫を凝らしながら実施しています。
一般普及講習（検定合格者に認定証を付与する講習）は救急法基礎講習のみ、その他各種短期講習は希望する団体様に出向き 2 時間程度の実施となります。

未だ感染収束の兆しが見えない中での講習ですが、今後も感染防止策を徹底した上で積極的に実施してまいります。

「いのちと健康を守る」赤十字講習をお考えの方は、事業推進課までお気軽にお問合せください 。

救急法基礎講習の様子

活動資金のご協力方法について

インターネット・スマートフォンでの活動資金のご協力について

1. クレジットカード決済

日本赤十字社のホームページからご協力いただけます。

スマートフォンはこちらから ➡

2. J-CoinPAY

スマートフォンアプリ **J-CoinPAY** を用いた新サービス「**ぽちっと募金**」の寄付先に日赤が加わりました。

J-Coin Pay

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

ご案内　遺贈・相続財産によるご協力について

近年「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」、「故人の遺産を社会に役立てたい」というお申し出を多くいただいております。

日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるため、**遺贈、相続財産等の寄付**を承っております。ご案内パンフレットもご用意しております。

ご相談やお問い合わせは組織振興課 TEL 019-638-3610 までお気軽にご連絡ください。

令和 2 年度国内義援金取扱い状況

義援金報告

岩手県支部への受付状況

今年度も皆さまからたくさん義援金をいただきました。皆さまの暖かいご支援、心より感謝申し上げます。お寄せいただいた義援金は全額が被災された方々に届けられます。

なお、手数料を日本赤十字社がいただくことは一切ございません。

義援金名	受付期間	件数	金額
東日本大震災義援金	H23.3.12 ～ R3.3.31	602 件	536,965,853 円
平成 28 年熊本地震災害義援金	H28.4.15 ～ R3.3.31	52 件	1,954,626 円
平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金	H29.7.7 ～ R3.3.31	6 件	89,315 円
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	H30.7.10 ～ R3.3.31	21 件	4,694,625 円
令和 2 年 7 月豪雨災害義援金	R2.7.7 ～ R3.3.31	15 件	817,957 円

発行者　日本赤十字社岩手県支部　〒020-0831 盛岡市三本柳 6-1-10 TEL 019-638-3610

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字いわて

No.56
2021 冬季号

コロナ禍を想定した
日赤第 1 ブロック支部合同災害救護訓練実施！

ー災害時における迅速かつ的確な救護活動の知識・技術を習得ー

特集記事へ

日赤岩手県支部の活動は
インスタグラムをご覧ください。
ぜひ、フォローをお願いします。
アカウント　nissekiiwate

Instagram やっています！

Instagram

特集

日赤第１ブロック支部合同災害救護訓練

コロナ禍を想定した救護訓練実施！

11 月 6 日から 7 日にかけて、日赤岩手県支部を会場に、日赤第 1 ブロック（北海道・東北）支部合同災害救護訓練を開催しました。今回の訓練では、新型コロナウイルス感染症への予防対策を講じ、初日はリモートでの座学、2 日目はコロナ禍での地震災害を想定した実動訓練を行いました。

2 日目の実動訓練では、マスク、フェイスシールド、手袋、さらに奉仕団が作成したゴミ袋を活用した手作りガウン等を着用し、避難者との距離を保っての問診が行われ、両者の声が聴き取りにくくなるなど、参加した救護班は感染対策による救護の難しさを実感していました。また、傷病者役の皆さんも実際の被災地のような臨場感を演出し、緊張が走る訓練となりました。（実動訓練は岩手県、秋田県、山形県が参加）

次年度は宮城県での開催を予定しており、人のいのちを守るため、あらゆる災害へ迅速に対応できるよう、今後も他支部との連携強化に努めてまいります。

活動報告

日赤岩手県支部 TOPICS

NHK 海外たすけあいのご報告（12/1~12/25）

NHK 海外たすけあいキャンペーンを実施しました。キャンペーン初日には**岩手大学学生赤十字奉仕団**が学内で募金活動を行いました。（寒風の中での呼びかけに感謝 !!）

皆さまからのご寄付は、世界各地の紛争や自然災害、感染症などに苦しむ人々を救うため、日赤が行う国際的な支援活動に活用させていただきます。たくさんの寄付でのご支援、ありがとうございました。

令和 2 年度のご協力（日赤岩手県支部受付分）

件数	金額
726 件	1,650,691 円

学生奉仕団による募金活動の様子

赤十字寄付金付き自動販売機のご紹介

赤十字へのご支援には直接のご寄付以外に、自動販売機によるご協力方法があることをご存じでしょうか。飲料の売り上げの一部が寄付される「**赤十字寄付金付き自動販売機**」が県内各地に設置されており、飲料を購入される方、設置者様も気軽に赤十字へ貢献いただけます。今年度は**新たに 10 台**の自販機が設置されました。

新規設置をご検討、またはすでに設置されている自販機からの変更をご希望の場合など、お気軽に日赤岩手県支部組織振興課にお問い合わせください。

赤十字寄付金付き自動販売機

赤十字災害救援車のご紹介

お住いの地域で、赤十字マークの付いた車両を見かけることはありませんか？その車両は皆さまからお寄せいただいた活動資金によって配備される「**赤十字災害救援車**」です。今年度は盛岡市地区と一関市地区、大船渡市地区に 1 台ずつ配備しました。

災害時には救援物資の運搬や避難者の救護活動、平時には赤十字活動資金募集や献血広報など、主に赤十字の業務に活用されます。

盛岡市地区

一関市地区

災害救助犬が「赤十字マーク」をつけて活動します！

日赤岩手県支部では 1 月 14 日に災害救助犬 2 頭に赤十字マークの入った犬用ワッペンを贈呈しました。

大槌町在住の※赤十字防災ボランティアである佐々木光義さんから自身が所有する**災害救助犬 2 頭（ユキ・サチ）**に「赤十字を背負って活動させたい」との申し出があり、日赤岩手県支部では、2 頭が**赤十字マークを身に着ける**ことを認めました。

今後、ユキとサチは災害時における捜索活動や赤十字の防災イベント等で赤十字マークを身に着けて活動します。県民の皆様の応援をどうぞよろしくお願いします。

※**赤十字防災ボランティアとは**
赤十字に登録し、防災時に赤十字救護班の後方支援や被災された方々のニーズに応じて、活動するボランティアのことです。

赤十字マーク付き犬用ワッペン

災害救助犬ユキ（左）、サチ（右）

青少年赤十字（JRC）

コロナに負けない子ども達の行動！矢巾・花巻地区こども赤十字研究会開催（10 月 8 日）

幼児安全法講習の様子

花巻市文化会館にて、保育園や幼稚園の園長と保育士等が参加しました。

青少年赤十字賛助奉仕団講師による講演では「コロナ禍での子ども赤十字活動」をテーマに日赤が作成したガイドを紹介し、このウイルスがもたらす弊害を防ぐため、不安を煽らないことや互いに敬意を払うことなどお話いただきました。

情報交換では、子どもたち自ら感染症の予防に努めていることや、年長さんが年少さんのお世話をして思いやりが芽生えているといった報告がありました。さらに、赤十字幼児安全法講習が行われ、身の回りにあるものを使って乳幼児の命をつなぐ技術を学びました 。

高校生が英語力を発揮！青少年赤十字国際交流事業（WEB）への参加（11 月 15 日）

日赤岩手県支部にて 3 名が、アジア各国の仲間たちと英語で交流しました。参加国は 22 ヵ国。日本は全国の高校から 41 チームが参加しました。交流テーマの一つである「新型コロナウイルス感染症に向き合う」では 偏見のない世界を作るためには、自分たちが何をすべきかを討論しました。

英語のみで進行され、緊張も感じられた岩手代表は、クイズや「ふるさと 1 品紹介」で発表を終えた頃には笑顔も多くなり、楽しく有意義な交流会となりました。

真剣に英語を聴き取る参加者

盛岡赤十字病院から

新型コロナウイルス対策について

令和 2 年 11 月から**初診発熱患者の診察や PCR 検査のために院外にプレハブ簡易外来を設置**しました。

診察室は 4 つに分かれており、外から直接出入りが可能です。室内にはエアコンや室内を清浄化する陰圧装置が完備されています。コロナの感染の疑いが低いと判断された場合は、院内で検査、診察が受けられます。院内にコロナウイルスを持ち込まないため皆様のご理解とご協力をお願いします。

プレハブ簡易外来

診察室の様子

岩手県赤十字血液センターから

お願い！献血は不要不急の外出ではありません。毎日必要人数に応じたご協力が必要です。輸血を待つ患者さんのため献血にご協力ください！

例年、冬季は献血にご協力くださる方が減少傾向となります。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、大変厳しい状況が続いています。輸血が必要な患者さんに安定的に血液をお届けするため、ぜひ、周りの方々にもお声がけをいただき献血へのご協力をお願いします。献血は、献血バスやもりおか献血ルームメルシーでご協力をお願いします。

献血される方が一時的に集中することによる密集や密接を防ぐため、献血の事前予約をお願いしています。お電話または、ラブラッド会員に登録して、ご予約の上、献血会場へお越しください。

献血バスの運行スケジュールやラブラッド会員登録、献血予約など詳しくは岩手県赤十字血液センターのホームページをご覧ください。

◆お問い合わせ
献血推進課
フリーダイヤル 0120-637-760